

1. 木質バイオマス関連情報

■岡山県西粟倉村と、西粟倉村の持続的な地域づくりのための取り組み「百年の森林構想」に賛同する企業らが、共同出資による新電力会社「西粟倉百年の森林でんき(株)」を村内に設立。出資したのは西粟倉村、(株)ちゅうぎんエナジー(岡山)、三ッ輪ホールディングス(株)(東京)、テクノ矢崎(株)(東京)および同村の地域おこし協力隊員で新会社の代表取締役に就任する寺尾武蔵氏。新会社は2023年3月28日に設立していたが、増資を受け5月8日に本格始動した。メイン事業は村内の公共施設を対象としたオンサイトPPA(屋根貸し太陽光発電)による電力販売。村営の再エネ施設(水力発電所、バイオマス発電所および熱供給ボイラ)の運営管理や、電力をふるさと納税の返礼品として活用する企業のサポート業務など、再生可能エネルギーに特化した技術やノウハウの提供を通して、村内の経済循環と脱炭素化を推進する【BIGLOBE ニュース：2023/05/22】

https://news.biglobe.ne.jp/economy/0522/prt_230522_8838774340.html

■大分県日田市と九州電力(株)大分支店(大分)が、カーボンニュートラルなどに関する包括連携協定を締結(5月15日)。第一弾の取組みとして、九州電力と地元企業の田島山業(株)が協力し、日田地域の基幹産業である森林・林業・木材産業の活性化に取り組む。日田地域の森林からのJ-クレジット創出に向けて周知活動や各種申請手続きのサポート等を行うほか、急峻な山林での苗木等の運搬や山林に放棄されている間伐材等(林地残材)を運び出して木質バイオマス発電の燃料に活用すること等を想定し、運搬ドローンを開発する。協定締結日には九電と民間企業が共同開発した、最大20kgの荷物を最長1時間にわたって運搬できるドローンを実演。今後は運搬可能な重量を最大50kgまで増やした上で2024年からの現場投入を目指す【毎日新聞：2023/05/24、九州電力(株)：2023/05/15】
<https://mainichi.jp/articles/20230524/k00/00m/020/038000c>
https://www.kyuden.co.jp/company_outline_branch_oita_press_20230515b-1.html

■日本中央競馬会(JRA)(東京)、昨年に続き今年も再生可能エネルギー(バイオマス由来)によって発電された電力で競馬開催に使用する電力量相当をまかなう「クリーンエネルギー競馬」を実施。クリーンエネルギー競馬は、再生可能エネルギーで発電された電力の環境価値を「グリーン電力証書」という形で購入することにより、再生可能エネルギー由来のクリーンな電力を購入したとみなすシステムを利用している。初の試みとして昨年6月5日に東京競馬場で実施した安田記念[G I]では、当日の競馬開催の使用電力約12万kWhをまかない、約54tのCO₂を削減した。今年、JRAは日本自然エネルギー(株)(東京)からバイオマス由来のグリーン電力証書を購入。6月3日の阪神競馬場から11月12日の京都競馬場開催分まで、全国10競馬場で実施する予定【日本中央競馬会：2023/05/29】

<https://www.jra.go.jp/company/social/environment/cleanenergy/>

■(株)タクマ(兵庫)、リージョナルパワー(株)(広島)より1バイオマス発電プラントの建設工事を受注。リージョナルパワーは中国木材(株)(広島)が設立したバイオマス発電事業会社。今回受注した事業では秋田県能代市にある能代工業団地内の約9万坪の敷地に建設中の中国木材能代工場内にバイオマス発電プラントを建設。製材の過程で発生する樹皮やオガを燃料とする発電事業を行う。発電出力は9,990kW。能代工場は2024年中に製材工場、加工工場、集材工場が順次試運転を開始予定。バイオマス発電プラントは2026年8月末完成予定【(株)タクマ：2023/05/30、中国木材(株)】

<https://www.takuma.co.jp/news/2023/20230530.html>

http://www.chugokumokuzai.co.jp/topics/noshiro_vol1.html

■ウクライナのインフラ復興を担う政府・エネルギー機関の関係者2名が、太平電業(株)(東京)が広島県広島市に保有する西風新都バイオマス発電所を見学(5月25日)。(独)国際協力機構(JICA)が主催する「ウクライナ国緊急復旧・復興プロジェクト」の一部である本邦招へい事業により来日し、実現した。同発電所は2019年10月26日に運転開始。広島県内の未利用

材、一般材、建設廃材を飯森木材(株)(広島)から一式調達し、併設工場でチップ化。8万5,000t/年の木質チップを使用。定格出力は7,100kW、想定年間送電電力量は約49,000MWh/年(約16,000世帯分の電力利用料)。2018年3月にFIT認定を取得しており、発電した電力は中国電力(株)(広島)に売電している【太平電業(株):2023/05/30、メガソーラービジネス:2019/11/06】

https://www.taihei-dengyo.co.jp/news/company/2023/05/post_205.html
<https://project.nikkeibp.co.jp/ms/atcl/19/news/00001/00357/?ST=msb>

■佐賀県玄海町で、牛などのふんを使って発電する九州最大規模の「玄海バイオガス発電所」が今年7月から稼働。(株)カンサイホールディングス(福岡)がバイオガス発電事業に出資し、2022年3月22日に「玄海バイオガス発電(株)」(佐賀)を設立。同年3月31日には環境省が地域脱炭素投資促進ファンド事業において、玄海バイオガス発電が申請した「家畜排せつ物等を主原料とした乾式のメタン発酵バイオガス発電事業」を出資案件で決定したとして公表している。カンサイホールディングスによると、牛など家畜のふんを約190t/日受け入れ可能で、それを温めて発生するガスでエンジンを回して発電。1年間で一般家庭約4,500世帯の年間消費に相当する電気を発電する。畜産農家のふん尿処理などの手間を減らすほか、約3,705t/年のCO₂を削減する効果が期待されている【SAGATV:2023/05/31、(株)カンサイホールディングス:2022/03/31】
<https://www.sagatv.co.jp/news/archives/2023053113321>
<https://kansaihd.co.jp/news/biogas/>

■ウクライナ政府・自治体関係者7名が、大栄環境(株)(本部・兵庫)の兵庫県三木市にある三木リサイクルセンターを見学。ロシアによる侵攻・戦争後の復興を見据えた戦災廃棄物処理・再資源化の知見・情報収集のため。大栄環境は、グループが携わった災害廃棄物処理業務を中心に紹介するとともに、2023年6月から稼働を開始する三木バイオマスファクトリーをはじめ、様々な廃棄物処理・再資源化施設を紹介。見学者からは「災害廃棄物の選別やエネルギー利用、土木資材への利用について」等、数多く質問があった【日刊建設工業新聞:2023/06/02、大栄環境(株):2023/05/25】
<https://www.decn.co.jp/?p=153460>

https://www.dinsgr.co.jp/news/news_no299/index

■広島県庄原市、バイオマス事業をめぐる裁判で前市長に賠償を求める判決が確定。同市が進めたバイオマス事業の事業会社が破綻し、2009年から2度にわたって国の補助金の不正な受け取りが明らかになったことから、市がこの補助金の一部の2億3,800万円余りを市の予算から国に返還。これに市民グループが訴えを起こし、事業を進めた滝口季彦前市長に賠償させるよう求めていたもの。2審の広島高等裁判所は今年1月、「前市長は実現できるか調査確認する義務を怠った」として1審に続き、市に対して2億3,800万円余りの損害賠償を前市長に請求するよう命じる判決を言い渡した。市はこれを不服として上告していたが、最高裁判所第3小法廷裁判長が6月2日までに退ける決定をし、市の敗訴が確定【NHK NEWS WEB:2023/06/02】

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230602/k10014087441000.html>

■(有)土屋設備(長野)、軽井沢町の間伐材を再利用したバイオマス燃料「軽井沢ブリケット薪」を2023年5月より販売開始。ブリケット薪はおがくずを高温高圧縮して製造したもので、通常の薪と同じように薪ストーブ、薪ボイラ、アウトドアやキャンプでのたき火、災害用の備蓄燃料など様々な用途に使用できる。軽井沢ブリケット薪は軽井沢町内の造園業で出る枝、軽井沢町内をはじめ長野県内の間伐材などを原料にしており、自社工場の間伐材からブリケット薪の完成まで一貫生産している。燃焼時間は約1時間~1時間半/本、原料は松・ナラ等(配合等は間伐材の種類により異なる)、薪サイズは直径約7cm x 長さ約40cm。軽井沢町ふるさと納税返礼品にもなっている【PR TIMES:2023/06/06】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000121660.html>

■テス・エンジニアリング(株)(大阪)、10MW級専焼バイオマス発電設備一式を受注。5月31日付でリリース。丸紅クリーンパワー(株)(東京)および大成建設(株)(東京)が各50%出資する石狩地域バイオマス発電(株)(北海道)より、9,950kWの木質専焼バイオマス発電所設備1式を三菱重工パワーインダストリー(株)(神奈川)、テス・エンジニアリング、りんかい日産建設(株)(東京)のJVで受注。同発電所の燃料は未利用材を中心に全て石狩市内や近隣で調達し、チップにする。燃料の全てを道産材で賄う発電所としては道内最大規模となる

見通し。工事開始は 2023 年 11 月、運開は 2026 年 1 月の予定
【OSR No.564 : 2023/06/07、テス・エンジニアリング (株) :
2023/05/31、北海道新聞 : 2023/05/30】

https://www.tess-eng.co.jp/news/20230531_ishikari.html

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/853827>

■青森県平川市で、津軽地方にウルシの山林を造り、伝統工芸の維持・継承と林福連携による SDGs 活動を図る民間の合同プロジェクトが始動。取り組みを始めたのは同市のバイオマス発電会社 (株) 津軽バイオマスエナジーと木質チップ製造会社の津軽バイオチップ (株)、就労継続支援 B 型事業所「きりんの里」を運営する「きりん」。きりんの里が成長したウルシの苗木を植える場所や団体を探していたところ、津軽バイオマスエナジーに森林再生に取り組みたい考えがあったことから、林福連携による合同プロジェクトが決まった。同社が平川市小国に保有する皆伐した山林約 1 ha に約 350 本/年のウルシ苗木を植え、3 年間で約 1,000 本にまで増やす予定。国産ウルシの生産量を増やし、津軽塗をはじめとする各地の伝統工芸品や文化財修復などに貢献するとともに、樹液採取後は伐採してバイオマス燃料に活用。伐採地には植林するというサイクルを確立し、ウルシ生産と環境保護に努める。5 月 29 日に関係者ら約 50 人が出席し、現地で植樹祭を実施【陸奥新報 : 2023/06/08】

<http://www.mutusinpou.co.jp/news/2023/06/76259.html>

■「信州 F・パワープロジェクト」の一環で長野県塩尻市にある木質バイオマス発電所を操業するソヤノウッドパワー (株) (長野) が、「燃料調達困難」と説明。ソヤノウッドパワーは征矢野建材 (株) (長野) が 22%、九電みらいエナジー (株) (福岡) が 20.4%、(株) 九電工 (福岡) が 15.7%、北野建設 (株) (長野) が 5.2%、(一社) グリーンファイナンス推進機構 (東京) が 26.2%、八十二キャピタル (株) (長野) が 10.5% 出資して 2014 年 3 月に設立。発電は長野県や塩尻市とも連携して森林資源の有効活用を目指す同プロジェクトの柱の一つで、発電出力は 14,500kW。燃料とする約 14 万 t/年の国産木質バイオマス (未利用材、製材端材) の供給は征矢野建材が担っている。調達が困難になっている背景として新型コロナウイルス禍やウッドショック、ロシアによるウクライナ侵攻といった世界規模での外部環境の変化の影響を挙げている。今後は県など関係者間で連携し、発電事業の安定化を図るとしている【信濃毎日新聞 : 2023/06/09、九電みらいエナジー (株) : 2020/10/15】

<https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2023060900129>

<https://www.q-mirai.co.jp/news/archives/232>

■秋田県大潟村議会、6 月 8 日に 6 月定例会を開会。村長は村政報告でもみ殻を燃料とするボイラを導入するバイオマス熱供給事業について、「順調にいけば来年 6 月から試運転、7 月から本格稼働となる予定」と報告。同村は環境省の「脱炭素先行地域」に選ばれており、この事業は「自然エネルギー 100% の村づくり」に向けた柱の一つ。村のカントリーエレベーターにもみ殻を燃料にするデンマーク製のボイラを設置し、熱を伝える導管も地域に敷設。ホテルや温浴施設、学校などにバイオマス熱を供給する。灯油など化石燃料の消費量を減らすと同時に、炭化したもみ殻は稲の育苗箱の土の一部に代用し、農家の負担軽減や作業の効率化につなげる。総事業費は約 10 億 5,000 万円。大潟村等が設立した地域エネルギー会社の (株) オーリス (大潟村) が事業実施主体となっており、オーリスに出資する (株) 秋田銀行 (秋田) が 12 億円の融資枠を設定し、1 回目の融資をこのほど実行した。オーリスは EPC (設計・調達・建設) の受託企業であるシン・エナジー (株) (兵庫) および (特非) 環境エネルギー政策研究所 (東京) と契約を締結しており、導管敷設やボイラ設置に向けた関連工事が今夏にも始まる見通し【秋田魁新報 : 2023/06/09、日本経済新聞 : 2023/06/23、(株) オーリス : 2022/12/27】

<https://www.sakigake.jp/news/article/20230609AK0011/>

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC2341G0T20C23A600000/>

<https://ores-ogata.jp/topics/>

■北海道津別町で、地元の木材をチップに加工する施設が完成し、6 月 10 日に記念式典開催。津別町は面積の 86% を森林が占めており、2007 年度にはバイオマスタウン構想を立ち上げ、地元の木材をチップやペレットに加工し暖房の燃料などに活用する取り組みを進めている。木質バイオマスセンターは、貯蔵棟とトラックスケール棟、屋外の貯木場、積み込みスロープで構成。2009 年度から稼働している木質ペレット製造施設に隣接し、原木置き場となっている町有地 6816m² に公設民営で建設。可動式のチップパを 1 基配備し、チップ製造後はホッパーにため、コンベヤーで一定量をふるい機に送り出し各規格のヤードに分類されるようになっている。(株) 森のエネルギー研究所 (東京) が 2020 年度に基本設計、2021 年度に実施設計を進

めた。式典の後にはチップに投入された木材が砕かれ、細かいチップになって出てくる様子を参加者が見学。町は約 2,400t/年のチップを製造して町内の公共施設で暖房の燃料として使うほか、家畜の寝床に敷いて使う予定【NHK NEWS WEB : 2023/06/10、北海道建設新聞社 : 2022/03/01】

<https://www3.nhk.or.jp/sapporo->

[news/20230610/7000058250.html](https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20230610/7000058250.html)

<https://e-kensin.net/news/145114.html>

■スイスの South Pole、三菱商事（株）（東京）と共同で設立した NextGen CDR Facility が、約 20 万 t のカーボンクレジットの長期購入契約を締結したと発表（4 月 26 日）。カーボンクレジットとは企業が生み出した CO₂ などの温室効果ガスの削減効果をクレジット（排出権）として発行し、他の企業との間で売買取引できるようにする仕組み。NextGen は、CO₂ 除去に関する革新技術（技術系 CDR）由来のクレジットを取り扱い、クレジットの買い手と売り手（プロジェクト）をつなぐことにより、市場拡大に必要な基盤構築を図っている。今回 NextGen が購入したクレジットは技術系 CDR クレジット市場のこれまでの総取引量の約 25% を占め、購入元には Summit Carbon Solutions がアメリカ中西部で進める、バイオマス炭素除去／貯留（BiCRS）プロジェクトが含まれる。同プロジェクトは技術系 CDR では世界最大となる 51 億ドル（約 7122 億 4000 万円）規模のプロジェクトで、900 万 t/年以上の炭素を除去する予定。その他のプロジェクトからもクレジットを購入し、NextGen は 2025 年までに累計 100 万 t 以上の技術系 CDR クレジットを購入する予定【fabcross for エンジニア : 2023/06/11】

https://engineer.fabcross.jp/archive/230611_nextgen.html

■地域課題解決型シード特化ファンド Central Japan Seed Fund が秋田県五城目町で地域資源のエネルギー活用事業を展開する「(株)このほし」に出資を決定。同社は今回の資金調達により、バイオマスによるマイクロ発電デバイスを開発。拠点である五城目町の脱炭素化実現に向け、林地残材や農業残渣などを用いた電力/熱供給スキームの構築に取り組むことにより、年間 17 億円にのぼるエネルギー代の域外流出を抑え、地域経済循環を促進することを目指す。また秋田県での取り組みを通じて得た知見を用いて、分散型マイクロ発電により新興国・途上国の電力ニーズに応える海外事業にも取り組む。出資額は不明【PR TIMES : 2023/06/12】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000123821.html>

■合同会社網走バイオマス第 2 発電所および合同会社網走バイオマス第 3 発電所が、6 月 12 日に竣工式を開催。2 号機は昨年 10 月、3 号機は今年 3 月に既に営業運転開始済み。両発電所には石油資源開発（株）（東京）、三菱ガス化学（株）（東京）、SMFL みらいパートナーズ（株）（東京）、(株)東京エネシス（東京）、(株)WIND-SMILE（東京）、日本製紙木材（株）（東京）の 6 社が出資。発電所の燃料には北海道産の国内材木質チップを 100% 使用、出力規模は各 9,900kW（2 機合計 19,800kW）で、発電する電力は FIT 制度を利用し、約 1.4 億 kWh を北海道電力ネットワーク（株）（北海道）へ売電している【合同会社網走バイオマス第 2、第 3 発電所 : 2023/06/13】

<https://www.abashiri->

[bp.com/news/%e7%b6%b2%e8%b5%b0%e3%83%90%e3%82%a4%3%82%aa%e3%83%9e%e3%82%b9%e7%99%ba%e9%9b%bb%e6%89%802%e5%8f%b7%e6%a9%9f%e3%81%8a%e3%82%88%e3%81%b3%e5%8f%b7%e6%a9%9f%e3%81%ae%e7%ab%a3%e5%b7%a5%e5%bc%8f%e3%82%92/](https://www.abashiri-bp.com/news/%e7%b6%b2%e8%b5%b0%e3%83%90%e3%82%a4%3%82%aa%e3%83%9e%e3%82%b9%e7%99%ba%e9%9b%bb%e6%89%802%e5%8f%b7%e6%a9%9f%e3%81%8a%e3%82%88%e3%81%b3%e5%8f%b7%e6%a9%9f%e3%81%ae%e7%ab%a3%e5%b7%a5%e5%bc%8f%e3%82%92/)

■宮城県石巻市の液体バイオマス発電所計画で、経産省が事業者に改善命令。市は建設を計画している「G-Bio イニシアティブ」（東京）から「計画に対する改善命令を経済産業省から受けた」と報告があったことを石巻市議会 6 月定例会の場で明らかに。同社は FIT 認定取得時は燃料をパーム油としていたが、環境影響評価の手続きや住民への説明ではマメ科植物のポンガミア油を使用するとしていた。今年 2 月頃国からの改善命令を受けたことにより、パーム油を燃料とした環境影響評価に変更することを県に伝え、県は評価書の修正や住民説明会などを行うよう指導。同社は 6 月中に県に評価書を提出し、7 月初旬の公告・縦覧を経て住民説明会を行う見通し【河北新報 : 2023/06/14】

<https://kahoku.news/articles/20230614khn000009.html>

■電力小売り等を行っているエフビットコミュニケーションズ（株）（京都）が、新規事業として高カロリーの燃料を製造・販売するバイオマス炭化事業進出へ。4 月 10 日に高知県土佐町田井コヲベノにて、工場建設・地鎮祭を実施。炭化するのは木質チップをはじめ有機材で、他社にない炭化工程のマニユフ

アクチャリングであることから燃料業界で注目されている。生産量 13,000t/年を目指しており、今年 11 月からの生産に向けて造成、建設に着手【OSR No.565：2023/06/14、エフビットコミュニケーションズ（株）：2023/04/14】

<https://www.fbit.co.jp/news-parent/news/2204.html>

■バイオマス由来のコークスについて、日本鉄鋼協会が今春新たに研究会を設立。製鉄工程で用いる石炭コークスの代替原料として、脱炭素に有効なバイオマス由来のコークスに注目が集まっており、これまで実現が難しいとされてきた高炉での活用に挑むため【鉄鋼新聞：2023/06/15】

<https://www.japanmetaldaily.com/articles/-/129090>

■商工組合中央金庫山形支店（山形）が、グリーンヒート&パワー合同会社（福島）に木質バイオマス発電所の建設資金 6,500 万円を融資したと発表（6 月 16 日）。今回の融資は顧客の明確な環境改善効果のある事業・設備投資をサポートする融資「グリーンローン」を適用。合同会社は福島県南会津町に出力 49kW のガス化バイオマス発電設備を設置し、38 万 2,200kWh を発電。電力を東北電力（株）（宮城）に売電するほか、発電時の廃熱をチップの乾燥に活用する計画。南会津町にはチップ業者が多く、チップの含水率を下げるための乾燥作業のニーズが高いことから廃熱乾燥の仕組みを導入。小型の発電設備をチップ業者の敷地内に建設し、チップ運搬時の環境負荷を抑える。発電設備はイタリア・ESPE 社の、CHIP50 コージェネレーター（木質チップ発電機）で設置済み。6 月末にも本格稼働する。CO₂ 排出量は 152t/年削減見込み【日本経済新聞、商工中金：2023/06/16】

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC1316Q0T10C23A600000/>

https://www.shokochukin.co.jp/assets/pdf/nr_230616_01.pdf

■京葉ガス（株）（千葉）グループの京葉ガスエナジーソリューション（株）（千葉）、北海道北斗市に完全子会社の「道南木材産業（株）」を設立（6 月 16 日）。新会社は林地残材の調達、木質バイオマス燃料の製造・販売などを行う。京葉ガスエナジーソリューションは再生可能エネルギー発電所を全国各地で展開しており、現在全国 53 カ所で約 1 万世帯分、約 60MW の電力を地域に供給している。その一つで 2020 年 12 月に北海道北杜市に運開した北斗バイオマス発電所（発電容量 1,990kW）は未利用木材の間伐材などを燃料としており、新たに設立した道南木材産業を通じて地域の人材雇用など林地残材の調達体制を整備し、バイオマス発電所用燃料としてだけでなく新たな活用方法の開発にも取り組む【PR TIMES：2023/06/16】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000105007.html>

■（株）中部プラントサービス（本店・愛知）の多気バイオパワー（三重）で 6 月 18 日午後 5 時半頃、木質チップ貯蔵庫から出火。発電に使う燃料用木質チップ約 300 m³が焼けたが、けが人はなかった。現場は三重県多気郡多気町の多気クリスタルタウン工業ゾーン内。発電所は 2016 年 6 月に営業運転開始。木質チップ（約 75,000t/年使用）を燃料とし、発電出力は 6,750kW。当日は工場の従業員から「工場内のチップが燃えている」と 119 番通報があった。貯蔵庫内のチップをショベルカーで外にかき出して消火し、出火から約 3 時間後の 8 時半頃、鎮火を確認。地元の消防組合が出火原因等を詳しく調査中【夕刊三重電子版 YoMotto：2023/06/19、（株）中部プラントサービス】

<https://yomotto.jp/2023/06/19/1130060/>

<https://home.chubuplant.co.jp/company/powergeneration/biomass/>

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

2. ペレット関連情報

■徳島県徳島市に建設していた四国最大級のバイオマス発電所が完成し、8 月稼働に向けて試運転へ。徳島津田バイオマス発電所は木質ペレット、PKS を燃料とし、設備容量は 74.8MW。想定年間発電量は約 50,000 万 kWh（一般家庭約 15 万世帯の年間使用電力量に相当）。2017 年秋にソフトバンクグループの

SB エナジー（株）（今年 4 月 28 日に豊田通商（株）子会社となり、社名は「テラスエナジー（株）」に変更）が断念した発電所建設計画を県内企業の（株）ゲンボク、大利木材（株）が引き継ぎ、徳島電気産業（株）（徳島）、（株）レノバ（東京）が参加。その後レノバが 36.1%、大阪ガス（株）（大阪）が 33.5%、

NEC キャピタルソリューション（株）（東京）が 12.35%、三菱電機クレジット（株）（東京）が 12.35%、ゲンボク、大利木材、徳島電機産業の三社が各 1.9%出資する特別目的会社「徳島津田バイオマス発電所合同会社」を設立。レノバは 2021 年 3 月 29 日、NEC キャピタルソリューションと三菱電機クレジットの出資持分を追加取得したことで出資比率が 60.8%となり、合同会社はレノバの連結子会社に。発電所の建設工事は日立造船（株）（大阪）、大成建設（株）（東京）の共同企業体が受注。ドイツのアンドリッツ社製循環流動層（CFB）ボイラおよび再熱再生式蒸気タービンで構成される高効率な発電設備の供給・据付・試運転を日立造船が行う。また日立造船グループ会社の Hitz 環境サービス（株）（神奈川）との共同企業体にて、設備の 20 年間の運営・保守もあわせて受注している【徳島新聞：2023/05/26、（株）レノバ、大利木材（株）；2018/1 月、豊田通商（株）；2023/04/28、（株）レノバ；2021/03/29、日立造船（株）；2019/04/26】

<https://www.topics.or.jp/articles/-/895835>

https://www.renovainc.com/business/power_plant/tokushimatsuda_biomass/

[https://www.dairinet.com/wp-](https://www.dairinet.com/wp-content/uploads/2018/01/15e0def023925a2e3849fbef4714a419.pdf)

[content/uploads/2018/01/15e0def023925a2e3849fbef4714a419.pdf](https://www.dairinet.com/wp-content/uploads/2018/01/15e0def023925a2e3849fbef4714a419.pdf)

[https://www.toyota-](https://www.toyota-tsusho.com/press/detail/230428_006232.html)

[tsusho.com/press/detail/230428_006232.html](https://www.toyota-tsusho.com/press/detail/230428_006232.html)

https://www.renovainc.com/news/ir/pdf/20210329_01_PRESS.pdf

https://www.hitachizosen.co.jp/newsroom/news/release/2019/20190426_001275.html

■林野庁、令和 4 年度森林・林業白書について 5 月 30 日の閣議で決定し、公表。特集テーマは「気候変動に対応した治山対策」。木質ペレットに関する情報としては、木材需給では輸入ペレットが 2021 年度、前年比 53.7%増の約 312 万 t となったとのこと。内訳はベトナム 165 万 t、カナダ 106 万 t、マレーシア 16 万 t、その他 26 万 t。特にベトナムからの輸入は火力発電所での石炭混焼用の需要が増加し、前年比 40.9%増に。カナダからの輸入量は、ペレット生産工場の稼働効率向上等により供給量が急増し、前年比 78.5%増となった。また事業所でエネルギー利用されている木質ペレットの用途についても調査しており、国内製造のものが約 11 万 t 発電機やボイラに、輸入

のものが約 170 万 t 発電機に使用され、前年比 28.9%増の合計約 181 万 t になった。詳細は下記サイトを参照【林野庁：2023/05/30】

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/r4hakusyo/index.html>

■新潟県聖籠町の県営新潟東港工業地帯で計画されているバイオマス発電所の建設は、当初予定から 3 年遅れの着工 2026 年度、運転開始 2029 年度に。事業主体のイーレックス（株）（東京）によると、燃料に木質ペレットのほか、開発中のイネ科植物「ニューソルガム」も予定しており、環境影響評価で県と新潟市から、「排出ガスは燃料の種類によって異なる」として燃料の種類や産地、量などについて今後さらに詳細な内容を明らかにするよう指摘を受け、より丁寧な評価、説明をすることにしたとのこと。同発電所はイーレックスが ENEOS（株）（東京）とともに、設備出力 300MW 規模、想定年間発電量約 2,000GWh と、新設としては世界最大級であるとともに世界初の超々臨界圧、かつ Non-FIT の大型バイオマス発電所の実現を図り、建設計画を進めている。燃料にはロシア産ペレットに加え、ベトナム、フィリピン等で試験栽培をしている燃料用ソルガム等、120 万 t/年使用する計画【新潟日報：2023/06/02、朝日新聞：2023/06/20、イーレックス（株）：2020/11/10】
<https://www.niigata-nippo.co.jp/articles/-/226580>
<https://www.asahi.com/articles/ASR6M7DSRR6JU0HB00B.html>
<https://www.erec.co.jp/news/pressrelease/1289/>

■長野県伊那市にある上伊那森林組合が、木質ペレット増産へ。同組合は 2003 年に工場を設立、上伊那周辺のカラマツ・アカマツの間伐材丸太を原材料とした全木ペレット「ピュア 1 号」を 2004 年度から販売。同年度 361t だった販売量は右肩上がりで伸び、過去最多の 4,559t を販売した 2022 年度は生産量を上回る 10t 分を在庫で対応。生産が追い付かない状況であるため、現行と同じく 1t/h 製造するラインを 2024 年度に完成させて 2 ライン態勢とし、2033 年度の生産量を 6,000t にする。新ライン増設の事業費は 4 億 5,000 万円の見込み。伊那市は 6 月 2 日の市議会 6 月定例会に提出した本年度一般会計補正予算案で、国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を財源にした同組合向けの補助金として、限度額 3 億円の債務負担行為を設定。ライン増設で増産と安定供給を図る【信濃毎日新聞：2023/06/03】

<https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2023060300137>

■長野県伊那市にある上伊那森林組合木質バイオマスエネルギー工場で火災、けが人なし。6月13日午後11時半頃出火。出火当時工場は稼働しており、おが粉を加熱乾燥する機械の排気ダクト付近から出火したとみられる。この排気に使う機械が火災と消化作業で破損。修理するか交換するかを調べる必要がある、森林組合は工場でのペレット生産を当面停止する方針。ペレットは夏の間も生産して在庫を積み増す計画だったが、現時点で在庫は1,000t以上あり、当面の出荷に影響はない。遅くとも冬までには再開したい考え。伊那署が原因を調査中【信濃毎日新聞：2023/06/15】

<https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2023061400984>

■農水省、木質ペレット燃料の日本農林規格（JAS）を6月15日に制定。同日発行のインターネット版官報には、農林水産省告示第七百四十一号として「日本農林規格に関する法律第三条第一項の規定に基づき、木質ペレット燃料の日本農林規格（JAS O O 三〇）を次のように定め、同法第七条第一項の規定に基づき、公示し、令和五年七月十五日から施行する。」と書かれている。JAS規格自体の制定と同時に、木質ペレット燃料の「格付の表示の様式及び表示の方法」、「検査方法」、「取扱業者の認証の技術的基準」についても定められ、同様に7月15日から施行予定。その他「国際標準化機構及び国際電気標準会議が定めた認証を行う機関又は試験所に関する基準」および「農林物資の種類又は農林物資の取扱い等の方法の区分ごとの認証事項の確認を行う期間」について、それぞれ一部改正が行われた。

JAS規格は、国際標準化機構（ISO）に2014年に第1版として発行された固体バイオ燃料の国際規格 ISO 17225-2 をベースに、住宅及び業務用木質ペレット燃料の等級分類について技術的内容を参考にして作成したもの。国内統一規格制定を目指し、ペレットクラブを含む複数の関係団体・機関でJAS規格原案について議論し、最終的な取りまとめ、申請手続き、農水省とのやり取りは主に（一社）日本木質ペレット協会（東京）が担ってきた。詳細については下記サイトを参照【農水省、インターネット版官報：2023/06/15】

https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/kokujikaisei.html

<https://kanpou.npb.go.jp/20230615/20230615h00999/20230615h009990003f.html>

■飛騨高山グリーンヒート合同会社（岐阜）が、今年8月下旬を目標にペレット製造の自社工場を建設する予定。ペレットは自社発電用とストーブ用およびボイラ用に分けて製造する予定で、販売価格等は後日ホームページにて公開するとのこと。同社は岐阜県高山市で木質ペレットを燃料とするドイツのブルクハルト社の小型ガス化発電装置を使ったバイオマス熱電併給事業を行っている。発電の際に生じた熱は地元の温浴施設「宇津江四十八滝温泉しぶきの湯」に供給。発電した電力はFIT制度を利用し、電力会社へ全量売電している。昨年9月2日付で、同社代表社員は谷淵庸次氏から（株）コウリン（岐阜）職務執行者の林俊宏氏に変更となっている【飛騨高山グリーンヒート合同会社：2023年】

<https://www.hidagreenheat.org/>

3. イベント情報（国内）

※新型コロナウイルスの影響により、イベント、展示会で急遽中止や延期を決定される場合があります。開催の有無については各ウェブサイト等で最新情報を確認するようにしてください。

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

■（公財）東京都環境公社「テーマ別環境学習講座①『気象キャスターと学ぶ気候変動～私たちにできる対策とは～』

2023年7月1日（土）
オンライン

<https://www.tokyokankyo.jp/31602.html>

■（公財）SOMPO 環境財団「市民のための環境公開講座 2023（1）気候変動と水問題」

2023年7月5日（水）

オンライン

<https://www.sompo-ef.org/kouza/kouza2023/>

◎群馬県上野村「再生可能エネルギーダブル発電所ツアー～上野村バイオマス発電施設&神流川発電所～」

2023年7月5日(水)

高崎駅東口(群馬県高崎市、送迎希望者)か、森の体験館
(上野村)に集合

<http://www.uenomura.jp/2023/05/post-690.html>

■(公財)日本環境教育機構「養老孟司氏特別講演『環境問題の壁』」

2023年7月5日(水)

東京ウィメンズプラザホール(東京都渋谷区)

<https://www.jp-eco.org/>

©NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク(BIN)第215回
研究会「木質バイオマス蒸気ボイラー利用促進調査結果の報告
(仮題)」

2023年7月5日(水)

オンライン

<https://www.npobin.net/activity/seminar.html>

■(公財)北九州観光コンベンション協会「エコテクノ
2023」

2023年7月5日(水)~7日(金)

西日本総合展示場(福岡県北九州市)

<https://eco-t.solution-expo.jp/>

■気候変動イニシアティブ(JCI)ウェビナー「科学を知る:IPCC
第6次評価報告書 統合報告書のポイントと削減目標・移行計
画策定の最新動向」

2023年7月13日(木)

オンライン(Zoomウェビナー)

<https://japanclimate.org/news-topics/ipccar6-syr/>

■NPO 法人環境文明21「第26回環文ミニセミナー『何もしな
いでいたことが引き寄せた気候の危機(仮)』」

2023年7月14日(金)

Zoom

<http://www.kanbun.org/2023/20230714mini/20230714mini.pdf>

■(公財)SOMPO 環境財団「市民のための環境公開講座2023
(2) エネルギーの未来を考える」

2023年7月19日(水)

オンライン

<https://www.sompo-ef.org/kouza/kouza2023/>

■兵庫県「兵庫県バイオマス活用推進大会」

2023年7月31日(月)

オンライン配信

https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/20230626_13317.html

■(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会「WOOD BIO 交
流プラットフォーム 第1回現地見学会」

2023年7月31日(月)~8月1日(火)

山形県内

<https://jwba.or.jp/topics/events/topics20230608/>

■NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク(BIN)第216回
研究会「地域燃料乾燥センターと超小型 CHP による地産地消型
木質バイオマス熱電併給プロジェクト(仮題)」

2023年8月29日(火)

地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)(東京都渋谷区)

/ZOOMによるオンラインのハイブリッド開催

http://www.geoc.jp/rashinban/event_detail_40223.html

■BECC JAPAN「BECC JAPAN 2023」

2023年8月30日(水)

早稲田大学西早稲田キャンパス(東京)

<https://seeb.jp>

■環境省「地域脱炭素ネットワーキングイベント」

2023年8月31日(木)

東京国際フォーラム(東京都千代田区)

https://www.env.go.jp/press/press_01554.html

■(公財)SOMPO 環境財団「市民のための環境公開講座2023
(4) 日本の森って、どんな森? 所有と利用と、その先へ」

2023年9月6日(水)

オンライン

<https://www.sompo-ef.org/kouza/kouza2023/>

■RX Japan(株)スマートエネルギーWeek 秋「脱炭素経営 EXPO」

2023年9月13日(水)~15日(金)

幕張メッセ(千葉県千葉市)

<https://www.decarbonization-expo.jp/hub/ja-jp.html>

■RX Japan (株) スマートエネルギーWeek 秋「第1回グリーンファクトリーEXPO 秋～脱炭素・サステナブル工場の実現へ～」

2023年9月13日(水)～15日(金)

幕張メッセ(千葉県千葉市)

<https://www.fiweek.jp/autumn/ja-jp/about/gfe.html>

■(一社)日本能率協会「九州エネルギー技術革新 EXPO 2023」

2023年9月26日(火)～27日(水)

マリンメッセ福岡 B館(福岡県福岡市)

<https://www.jma.or.jp/infra/energy/outline/index.html>

■(一社)日本木工機械工業会「日本木工機械展 Mokkiten Japan 2023」

2023年10月5日(木)～7日(土)

ポートメッセなごや(愛知県名古屋市)

<https://mokkiten.com/>

■REIF ふくしま 2023 運営事務局「第12回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア(REIF ふくしま 2023)」

2023年10月12日(木)～13日(金)

ビッグパレットふくしま(福島県郡山市)

<https://reif-fukushima.jp/>

■(一社)日本能率協会「北海道エネルギー技術革新 EXPO 2023」

2023年10月18日(水)～19日(木)

アクセスサッポロ(北海道札幌市)

https://www.jma.or.jp/infra/energy/outline/index_h.html

■諏訪圏工業メッセ 2023

2023年10月19日(木)～21日(土)

岡谷市民総合体育館/テクノプラザおかや(いずれも長野県岡谷市)

<https://suwamesse.jp/>

■(一社)林業機械化協会「2023 第46回全国育樹祭開催記念行事 森林・林業・環境機械展示実演会」

2023年11月12日(日)～13日(月)

笠松運動公園(茨城県ひたちなか市)

<https://www.rinkikyo.or.jp/>

■RX Japan (株) 関西スマートエネルギーWeek 秋「脱炭素経営 EXPO」

2023年11月15日(水)～17日(金)

インテックス大阪(大阪)

<https://www.decarbonization-expo.jp/osaka/ja-jp.html>

■(一社)日本能率協会「Japan Home & Building Show 2023」

2023年11月15日(水)～17日(金)

東京ビッグサイト東展示棟(東京都江東区)

<https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo/>

■(一社)サステナブル経営推進機構、「エコプロ 2023」

2023年12月6日(水)～8日(金)

東京ビッグサイト東ホール(東京都江東区)

<https://messe.nikkei.co.jp/ep/>

■RX Japan(株)「第9回【国際】バイオマス展 春」

2024年2月28日(水)～3月1日(金)

東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.wsew.jp/hub/ja-jp/about/bm.html>

■RX Japan (株)「スマートエネルギーWeek 春」

2024年3月1日(水)～3日(金)

東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.wsew.jp/spring/ja-jp.html>

©2024NEW 環境展/2024 地球温暖化防止展

2024年5月22日(水)～24日(金)

東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.n-expo.jp/>

4. イベント情報（海外）

■Argus Carbon Markets & Regulation Conference

2023年7月5日（水）～7日（金）

リスボン（ポルトガル）

<https://www.argusmedia.com/en/conferences-events-listing/carbon-markets-and-regulation>

■CBS Day

2023年7月9日（日）

ネブラスカ州オマハ（USA）

<https://asabe.org/About-Us/Strategic-Initiatives/Circular-Bioeconomy-Systems/CBS-Day-AIM-2023>

■2023 ASABE Annual Meeting

2023年7月9日（日）～12日（水）

ネブラスカ州オマハ（USA）

<https://asabemeetings.org/>

■International Conference on Biorefinery and Biomanufacturing

2023年7月23日（日）～27日（木）

アテネ（ギリシャ）

<https://icb2023.scievent.com/>

■International Clean Energy Challenge

2023年7月24日（月）～28日（金）

シュピタル・アム・ピュールン（オーストリア）

<https://www.wsed.at/international-clean-energy-challenge-2023>

◎Svebio Fuel Market Day 2023

2023年9月6日（水）

ストックホルム（スウェーデン）

<https://www.svebio.se/en/evenemang/svebio-fuel-market-day-2023/>

■ADBA Northern Ireland Conference 2023

2023年9月7日（木）

ベルファスト（北アイルランド）

<https://adbioresources.org/events/northern-ireland-conference-2023/>

■ADBA Scottish Conference 2023

2023年9月19日（火）

エディンバラ（スコットランド）

<https://adbioresources.org/events/scottish-conference/>

◎Advanced Biofuels Conference 2023

2023年9月20日（水）～21日（木）

イエーテボリ（スウェーデン）

<https://www.svebio.se/en/evenemang/advanced-biofuels-conference-2023/>

■Transport Biofuels

2023年9月27日（水）～28日（木）

ウオフフ（ポーランド）

<https://kib.pl/en/konferencja-2/>

■WASTECON 2023

2023年9月27日（水）～29日（金）

マサチューセッツ州ボストン（USA）

<https://swana.swoogo.com/wastecon2022/>

◎Bioenergy Heating International Training Seminar

2023年10月2日（月）～5日（木）

リンツ（オーストリア）

<https://www.cleantechcluster-energie.at/en/bioenergy-heating>

■Bioenergy Pavilion 2023

2023年10月4日（水）～6日（金）

グレーター・ノイダ（インド）

<https://biogas-india.com/bio-energy-pavilion-2023/>

■IGEM 2023 – International Greentech & Eco Products Exhibition & Conference

2023年10月4日（水）～6日（金）

クアラルンプール（マレーシア）/オンライン

<https://www.igem.my/>

■Biomass PowerON 2023

2023年10月11日（水）～12日（木）

ストックホルム（スウェーデン）

<https://fortesmedia.com/biomass-poweron-2023,4,en,2,1,25.html>

■USIPA 2023 Conference

2023年10月16日（月）～18日（水）

フロリダ州マイアミ（USA）

<https://theusipa.org/2023-conference>

■All Energy Australia 2023

2023年10月25日（水）～26日（木）

メルボルン（オーストラリア）

<https://www.all-energy.com.au/en-gb.html>

■National Carbon Capture Conference & Expo

2023年11月7日～8日

アイオワ州デモイン（USA）

<https://nccc.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

■ECOMONDO 2023

2023年11月7日（火）～10日（金）

リミニ（イタリア）

https://unb.ecomondo.com/visit-2023/?utm_source=referral&utm_medium=banner&utm_campaign=Woodcote+Media+Publications

■2023 UN Climate Change Conference (UNFCCC COP 28)

2023年11月30日（木）～12月12日（火）

ドバイ（アラブ首長国連邦）

<https://sdg.iisd.org/events/2022-un-climate-change-conference-unfccc-cop-28/>

■Progress in Manure & Digestate

2023年12月5日（火）～7日（木）

オンライン

<https://ibbk-biogas.com/schedule/online-conference-progress-manure-digestate-treatment/>

■bio 360 Expo 2024

2024年1月24日（水）～25日（木）

ナンテ（フランス）

<https://bio360expo.com/>

■Progetto Fuoco

2024年2月28日（水）～3月2日（土）

ヴェローナ（イタリア）

<https://www.progettofuoco.com/en/>

■2024 International Biomass Conference & Expo

2024年3月4日（月）～6日（水）

ヴァージニア州リッチモンド（USA）

<https://2024-ibce.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

■WFES 2024 – World Future Energy Summit

2024年4月16日（火）～18日（木）

アブダビ（アラブ首長国連邦）

<https://www.worldfutureenergysummit.com/>

■BOILER 2024 | ABMA Boiler Technology Conference & Expo

2024年5月1日（水）～3日（金）

コロラド州デンバー（USA）

<https://abmaboilerexpo.com/>

■Waste Expo

2024年5月6日（月）～9日（木）

ネバダ州ラスベガス（USA）

<https://www.wasteexpo.com/en/home.html>

■Carbon Capture & Storage Summit

2024年6月10日（月）～12日（水）

ミネソタ州ミネアポリス（USA）

http://fuelethanolworkshop.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Carbon_Capture_Storage_Summit

■International Fuel Ethanol Workshop & Expo

2024年6月10日(月)～12日(水)

ミネソタ州ミネアポリス (USA)

<https://few.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pagelid=Home>

■Biodiesel Summit: Sustainable Aviation Fuel & Renewable Diesel

2024年6月10日(月)～12日(水)

ミネソタ州ミネアポリス (USA)

<https://few.bbiconferences.com/Biodiesel.html>

5. 2023年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報(都道府県順)

※締切や公募の条件等の詳細は各自治体にお問い合わせください。

◇: ストーブ

◆: ストーブ・ボイラ共

【北海道】

◇北広島市「北広島市住宅用再生可能エネルギー及び省エネルギー機器設置補助金」

<https://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/hotnews/detail/00145684.html>

◇猿払村「令和5年度猿払村新エネ・省エネ設備等導入促進補助金」

<https://www.vill.sarufutsu.hokkaido.jp/hotnews/detail/00002272.html>

◇美幌町「木質ペレットストーブ購入補助金」

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/docs/2022020800031/>

◇蘭越町「住宅エコ化支援事業」

<https://www.town.rankoshi.hokkaido.jp/administration/life/detail.html?content=88>

【岩手】

◆葛巻町「エコ・エネ総合対策事業費補助金」

<https://www.town.kuzumaki.iwate.jp/docs/2015111900178/>

【宮城】

◆南三陸町「南三陸町木質バイオマスエネルギー利活用推進事業費補助金」

<https://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/index.cfm/7,17017,3>

[9,197.html](https://www.town.asahi.yamagata.jp/portal/soshikingoannai/kensetsusuidoka/seibigakari/3/1/1665.html)

【山形】

◇朝日町「木質バイオマス燃焼器設置支援事業補助金」

<https://www.town.asahi.yamagata.jp/portal/soshikingoannai/kensetsusuidoka/seibigakari/3/1/1665.html>

◇川西町「令和5年度川西町再生可能エネルギー設備導入事業費補助金」

<https://www.town.kawanishi.yamagata.jp/kurashi/seikatsukankyo/saiene.html>

◇戸沢村「再生可能エネルギー設備等設置事業費補助事業」

http://www.vill.tozawa.yamagata.jp/life/seikatsu_kotsu_jutaku_jutaku_hojokin/

◆長井市「令和5年度長井市再生可能エネルギー設備導入補助金」

<https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/sougoseisaku/2/6/sisakukeikaku/12398.html>

【福島】

◇西会津町「西会津町再生可能エネルギー設備等設置事業補助金」

<https://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/soshiki/2/20.html>

【埼玉】

◇飯能市「ペレットストーブ設置補助金」

<https://www.city.hanno.lg.jp/soshikikarasagasu/norimbu/shinrinzukurisuishinka/1343.html>

【千葉】

◆いすみ市「いすみ市木質バイオマス活用事業補助金」

https://www.city.isumi.lg.jp/soshikikarasagasu/norinka/choju_satoyamataisakushitsu/1/1/1217.html

◆南房総市「住宅等木質バイオマス暖房機等設置費等補助金」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

◇南房総市「木質バイオマス燃料費補助金」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

※対象は薪などの購入費

【新潟】

◆湯沢町「湯沢町再生可能エネルギー普及促進事業補助金」

<https://www.town.yuzawa.lg.jp/kurashinohoho/machinitsuteshiritai/12/1/1722.html>

【石川】

◇珠州市「珠州市木質バイオマスストーブ購入費補助金」

<https://www.city.suzu.lg.jp/soshiki/2/1472.html>

◇能美市「能美市自然エネルギー設備設置補助金」

<https://www.city.nomi.ishikawa.jp/www/contents/1001000000179/index.html>

【福井】

◇福井市「木質バイオマス利用促進事業」

<https://www.city.fukui.lg.jp/sigoto/nourin/ringyou/p025857.html>

【長野】

◇木祖村「木祖村安心エコ住宅リフォーム補助金」

https://www.vill.kiso.nagano.jp/kurashi_joho/hojokin/hozyoseido.html

◆松川町「松川町森のエネルギー推進事業補助金」

<https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/juminzeimuka/kankyokakari/1/3/4811.html>

【兵庫】

◇猪名川町「薪・ペレットストーブ購入補助金」

https://www.town.inagawa.lg.jp/kurashi/hojo_enjo/1468124902628.html

◆新温泉町「新温泉町再生可能エネルギー導入促進事業」

https://www.town.shinonsen.hyogo.jp/page/index.php?mode=detail&page_id=4608e6edfca1d28e114ab35a483bb4d7

【鳥取】

◇琴浦町「令和5年度琴浦町クリーンエネルギー導入推進事業補助金」

<https://www.town.kotoura.tottori.jp/docs/2019042200024/>

◇智頭町「薪ストーブの購入支援」

https://www1.town.chizu.tottori.jp/user/filer_public/eb/c3/ebc33467-e247-4e23-bb49-4ae7d646aceb/guang-bao-zhi-tou-6yue-hao.pdf

※対象は薪ストーブ

◆日南町「日南町家庭用発電設備等導入推進補助金」

https://www.town.nichinan.lg.jp/soshikikarasagasu/juminka/hojo_hojoseido/1028.html

◆若桜町「木質燃料の燃焼機器助成」

<https://www.town.wakasa.tottori.jp/soshikikarasagasu/kikakuseisakuka/1/11/384.html>

【島根】

◆飯南町「令和5年度飯南町新エネルギー設備導入促進事業補助金」

<https://www.iinan.jp/soshiki/8/4031.html>

◇津和野町「津和野町再生可能エネルギー設備等導入支援事業補助金」

<https://www.town.tsuwano.lg.jp/www/contents/1648860056109/index.html>

◇美郷町「美郷町ゼロカーボン促進事業」

<https://gov.town.shimane-misato.lg.jp/information/information01/872>

※対象は薪ストーブ

【岡山】

◇美作市「美作市薪ストーブ設置事業補助金」

<https://www.city.mimasaka.lg.jp/soshiki/norin/shinrin/shinsei/1449806707000.html>

※対象は薪ストーブ

【熊本】

◆高森町「高森町ペレットストーブ等設置費補助金」

<https://www.town.takamori.kumamoto.jp/chosha/seisaku/2023/06/post-321.html>

◆南阿蘇村「令和5年度木質バイオマス燃料燃焼機器設置補助」

<https://www.vill.minamiaso.lg.jp/kiji003841/index.html>

6. 公募等情報（締切順）

■環境省「令和5年度地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業の二次公募について」

受付期間 2023年5月26日（金）～7月6日（木）

https://www.env.go.jp/guide/kobo/kobo_00049.html

■福島県「令和5年度福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業費補助金（地域活用型再生可能エネルギー導入支援事業）について」

2次締切：7月26日（水）

3次締切：9月6日（水）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/katsuyo-r5.html>

■大成建設「公益信託大成建設自然・歴史環境基金」

応募締切日 2023年7月28日（金）

<https://www.taisei.co.jp/corp/society/kikin/gist.html>

■（公財）滋賀県産業支援プラザ「令和5年度省エネ・再エネ等設備導入加速化補助金」

2次締切：7月31日（月）

3次締切：8月31日（木）

4次締切：9月29日（金）

最終締切：10月31日（火）

<https://www.shigaplaza.or.jp/hojokin-co2-230630/>

■イオン環境財団「第33回イオン環境活動助成」

応募期間 2023年6月1日（木）～7月31日（月）

https://www.aeon.info/ef/environmental_activities_grant/public_offering/about.html

■（一社）環境技術普及促進協会「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 民間企業等による再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業（2）新たな手法による再エネ導入・価格低減促進事業に係る⑤熱分野・寒冷地での脱炭素化先行モデル創出事業」

二次公募 2023年7月14日（金）～8月10日（木）

http://www.eta.or.jp/offering/23_09_nemdl/230522.php

■（公社）環境生活文化機構「2023年度持続可能な社会づくり活動表彰募集」

応募締切 2023年8月31日（木）

<https://www.elco.or.jp/publics/index/29/>

■福島県「福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業費補助金（地域活用型再生可能エネルギー導入支援事業）について」

公募期間 2023年5月10日（水）～9月6日（水）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/katsuyo-r5.html>

■農水省「令和5年度バイオマス産業都市構想の提案を募集」

募集期間 2023年6月15日（木）～10月31日（火）

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/r_energy/230615.html

■新潟県「令和5年度新潟県再生可能エネルギー設備導入促進事業補助金（二次公募）」

公募期間 2023年6月28日（水）～12月15日（金）

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/sogyosuishin/1356915935143.html>

■広島県「令和5年度広島県創エネ・省エネ設備導入促進補助金の公募のお知らせ（幼稚園・保育所・認定こども園等対象）」
受付期間 2023年12月28日まで
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/04setubihojokin.html>

■（公社）日本フィランソロピー協会「SDGs貢献プロジェクト」
受付 年2回（6月1～30日、12月1～31日）の期間内
<https://www.philanthropy.or.jp/jt/>

■静岡県浜松市「浜松市木質バイオマス設備導入支援事業費補助金」
受付期間 2023年4月21日（金）～2024年1月31日（水）
https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-ene/new_ene/mokushitsuhojokin.html

■栃木県「今すぐ始められる脱炭素の取組を紹介します！（脱炭素普及啓発事業）」
募集期間 2023年4月12日（水）～2024年2月中旬まで
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/hukyuukehatsu.html>

■長野県塩尻市「塩尻市木質バイオマス利用設備設置費等補助金（ペレットストーブ、ペレットボイラー用燃料）」
受付期間 2023年4月3日（月）～2024年3月15日（金）
<https://www.city.shiojiri.lg.jp/soshiki/30/2997.html>

■兵庫県宍粟市「宍粟市再生可能エネルギー利用促進事業補助金（木質バイオマス燃料製造設備導入費用助成）」
受付期間 2023年4月3日（月）～2024年3月15日（金）
<https://www.city.shiso.lg.jp/soshiki/sangyo/rinngyousinnkou/tanntoujyouhou/shinenerugi/1515747696234.html>

■農水省大臣官房環境バイオマス政策課「農林漁業バイオ燃料法に基づく事業計画、支援措置（固定資産税の特例等）」
固定資産税の特例の適用期限 ～2024年3月31日（日）まで
<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/bio/nenryoho/>

■長野県松本市「松本市再生可能エネルギー導入支援事業補助金」
<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/51/4407.html>

■千葉県南房総市「南房総市施設園芸木質バイオマス暖房機等設置費等補助金」
<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

■高知県「高知県木質資源利用促進事業費補助金」
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019022200068.html>

■高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

■高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」
http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

■高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」
http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html#e000000030

■北海道「林業・木材産業改善資金」
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/kaizennshikinn.pdf>

■滋賀県甲賀市「再生可能エネルギー地域導入促進事業補助金」
<https://www.city.koka.lg.jp/6567.htm>

■滋賀県甲賀市「甲賀市公共的施設等再生可能エネルギー導入事業補助金」
<https://www.city.koka.lg.jp/7406.htm>

■富山県南砺市「南砺市木質ペレット燃料普及拡大推進事業補助金」
<https://www.city.nanto.toyama.jp/cms-sypher/www/service/detail.jsp?id=24564>

■富山県南砺市「南砺市木質ペレット燃料高騰対策事業補助金」
<https://www.city.nanto.toyama.jp/cms-sypher/www/service/detail.jsp?id=25479>

■栃木県「栃木県環境保全資金（省エネ設備等の導入）」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyoku/ondanka/syouene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

■徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

■奈良県「新エネルギー等対策資金」

<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>

※融資制度

■（公財）日本環境協会「令和2年度環境配慮型融資促進利子補給事業」

https://www.jeas.or.jp/activ/prom_24_00.html

※融資制度

■神奈川県横浜市「よこはまプラス資金（環境・エネルギー対策）」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyoko-en-gesui/plus/hozenshikin.html>

※融資制度

■富山県「脱炭素社会推進資金（再生可能エネルギー利用促進枠）」

<https://www.pref.toyama.jp/1300/sangyou/shoukoukensetsu/shoukougyou/kj00012293/kj00012293-008-01.html>

※融資制度

■富山県「富山県中小企業脱炭素社会推進資金環境施設整備枠融資制度」

<https://www.pref.toyama.jp/1705/kurashi/kankyoushizen/kankyoku/kj00006264.html>

※融資制度

■千葉県「環境保全資金（制度全般事業認定）」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyukankyoku/ne/shien-jigyousha.html>

■千葉県市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittigaido.html>

■（独）農林漁業信用基金「災害で被災された方の支援について（新型コロナウイルス感染症による影響を含む）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/shien/index.html>

■（独）農林漁業信用基金「新たに林業・木材産業の事業を立ち上げる方（新たに開始する方、他産業から参入する方）への支援について（林業・木材産業の創業等支援保証）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/default2022042214551.html>

■（独）農林漁業信用基金「林業・木材産業の複合経営を行う方への支援について（林業・木材産業複合経営化支援保証）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/default2022042214150.html>